

勝山市総合行政審議会（第14期第9回） 結果概要

開催日時：平成29年10月12日（木）

午後7時～午後9時

開催場所：勝山市民会館3階 第2・3・4会議室

出席者等：出席委員12名

説明者：健康福祉部長、市民生活部長、建設部長、
市民課長、ジオパークまちづくり課長、
建設課長、都市政策課長、上下水道課長、
健康長寿課長、福祉・児童課職員GL、
上下水道課GL

事務局：総務部未来創造課

議 題

平成28年度勝山市政策基本目標管理外部評価について（グループごとの審議）

【Aグループ】 観光・まちづくり分野

第1章 すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり

1.1. 市民が主体となったまちづくり

1.1.2. 市民活動の推進 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

1.2. 効率的、効果的な行財政の運営

1.2.2. 公平・適正な税制運営等による歳入の確保 について

●委員

- ・航空写真の撮影は例年決まった年に実施されるのか。

○説明者（市民生活部長）

- ・土地の管理のために行っているが、平成6年に航空写真を撮影して以来実施していなかった。平成29年度当初予算化し、事業着手した。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

125. 行政組織の効率的運用（施策指標） について

●委員

- ・市民満足度はどのように集計したのか。

○説明者（市民課長）

- ・昨年度の12月から3月にかけて市民課窓口に来られた方にアンケート用紙を配布しアンケートをとった。前回調査した際には、市民全体から対象に抽出した方へアンケートをとったため、市民課へ来たことのない方も対象となっていた。

●委員

- ・指標の目標値が88%なのはなぜか。

○説明者（市民生活部長）

- ・平成27年度の目標設定時に約80%であったので、毎年2%ずつ数値を上げていくと想定し、平成32年度には88%という目標値になっている。

○説明者（市民課長）

- ・委員のおっしゃるとおり100%の目標にしたかったが、現実的な数値ではないと判断した。

●委員

- ・市民満足度の指標にこだわりすぎると、業務の効率性は下がるのではないか。銀行の窓口ではどのような方針でされているのか。

●委員

- ・以前はお客様の待ち時間などをなるべくなくすようにスピードが重視されていたが、現在は時間をかけても間違えないようにという方針でやっている。

○説明者（市民課長）

- ・市民課においても時間をかけて納得していただくように対応するよう心掛けている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

1 2 6. 広域行政の推進 について

●委員

- ・ごみの排出量については、人口減少に伴い自然と減少するのではないか。また家庭ごみの比重は生ごみが大きいと聞くが、家庭用の生ごみ処理機の助成は現在もされているのか。

○説明者（市民課長）

- ・家庭での生ごみ処理に関する助成については、市はコンポストの購入に対して補助金を出しているが、近年堆肥を使用する機会が減っており、あまり需要がないのが現状である。現在は食べる分だけ作り食べきる運動に方針を変えて取り組んでいる。

●委員

- ・ごみの排出量の減少については、個人にメリットがないとなかなか家庭で取組みが進まないと思う。例えばごみ袋の量が減って家計的にこれだけ得だとか、広報の際にはできるだけ個々に焦点をあてた工夫をする必要があると思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

1 3. 多様な交流活動の推進

1 3 1. 恐竜を活かしたまちづくり について

●委員

- ・ジオパーク学習の対象を小学生から中学生に拡大したことは素晴らしいと思う。しかし、もっと地元の方にジオパークを知っていただきたい。現在も様々なジオツアーを企画し実行されているが、参加者はまちづくりに携わる方に偏っていないだろうか。関係者以外の参加もさらに促していただきたい。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・平成 28 年度は初めて、勝山北部中学校でジオパーク学習として火山教室を 2 回実施した。今年度は勝山南部中学校において城下町をまわる学習を行う予定である。公民館でもジオパーク学習を行っていただいているが、おっしゃる通り、さらに一般の方に対しても広めていかなければならないと考えている。平成 29 年度はジオパークプラットホーム事業として、勝山市観光まちづくり株式会社へ委託しジオツアーを実施した。ただ「ジオツアー」という言葉ではなく、「赤とんぼ」や「コスモス」といったイメージしやすい名称をツアー名に取り入れ、参加者を募集した。また、新聞折り込みをするなどして広く募集した。今後は口コミによる広がり期待したい。また、まちづくり会社との PR を市も連携して行っていく。ようやく動き出した。

●委員

- ・たしかにジオツアーという名称だと堅苦しいし分かりにくい印象である。コスモスツアーと聞くと想像しやすく参加しやすい。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・ツアー内容の分かりやすさを重視したい。

●委員

- ・ジオパークと聞くと、市長のあいさつ等で名称を聞く程度で、どのようなことを言っているのか分からなかった。分かりやすい言葉だと良い。ツアーにはどのような年代の方が参加しているのか。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・50～70 歳代が多い。今後は子育て世代がより参加しやすいよう、子どもの預かりやベビーカートの利用、幼児の参加の可否、トイレ・休憩所等の対応や情報提供は必要であるとする。

●委員

- ・子育て世代には必要だと思う。まちなか歩き用に施設は整備されているのか。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・トイレや休憩にあたっては「まちの駅」加盟店に協力いただいている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

137. シティプロモーションの推進 について

●委員

- ・市民と協働による「恐竜溪谷ふくい勝山ジオパーク」のロゴマークを活用した勝山市のPRについて、ロゴマークを使用した啓発活動助成の周知はどのようにされているのか。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・ホームページと広報には掲載したが、不十分かもしれない。今後は各種団体へ出向いて説明会を開くなど積極的なPRをしたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

15. 各地区、各集落の地域力向上の実現

151. 市民が主体となった地域力の向上 について

●委員

- ・えちぜん鉄道の利用者は増えているのか。

○説明者（市民課長）

- ・相互乗り入れの影響により、えちぜん鉄道全体の利用者は増えているが、福井市内の短い区間

の利用が増えており、勝山までの利用が増えているわけではない。

●委員

- ・勝山駅の利用はどうか。

○説明者（市民課長）

- ・子どもの数が減ると通学で利用する人数が減り、それがかなり影響している。観光客の利用については徐々に増えている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

第2章 誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり

25. 安定した医療、保険制度の実現

252. 安定した国民保険制度の運営 について

○説明者（市民課長）

- ・平成30年度より国民健康保険の保険者が県に移行する。現在、勝山市の運営状況は若干黒字であるので、今のところ保険税率を変更する予定はない。また収納率も県内で3番目くらいに良い。

●委員

- ・今後も健康な市民を増やしていただき、医療費を抑えていくような施策に努めていただきたい。

●委員

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

26. 安全安心に暮らせるまちの実現

264. 交通安全対策の推進 について

●委員

- ・運転免許証返納の促進等による高齢者が関係する交通事故減少に向けた取組みの強化について、運転免許証返納者には市内バスの無料乗車券を交付されているが、村部の方はバス停が少なく、利用するには不便だと聞く。タクシーの助成等はされないか。

○説明者（市民課長）

- ・デマンド便のバス停を増やすことは可能である。また、バス停の看板ではなく、例えば公民館

の前や神社の前といった、より近所で目印となる場所から乗降していただくこともできる。

●委員

- ・ぐるりんは大型バスなので、集落の細い道路を入れていくことができないこともある。小型化への対応はできないか。

○説明者（市民課長）

- ・地域の全ての実情に合わせていくと、大変多岐に渡ってしまい費用もかかる。北谷線を廃止した際、住民にはタクシー補助を検討したが、費用がかなりかかることが分かった。今は公共交通機関として、そこまで対応する時ではないと考えている。それよりもバスの利用をさらに促進する取組みに力を入れていきたい。

●委員

- ・将来、バスの自動運転化の時代もやってくる。全国に先駆けて取り入れるのも良いと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

266. 消費者保護の推進 について

●委員

- ・幼児期から高齢期まで年代に応じた消費者教育の推進について、施策指標の相談件数を増やしていくとのことだが、どのように認知度を高めていくのか。

○説明者（市民課長）

- ・勝山市の消費者センター認知度 58.8%は、県内でも高い数値である。アンケートの中では、トラブルにあった時でも「相談してもどうしようもない」と諦めてしまう方が多いので、消費者講座等においてそういった層に向けた働きかけを行い、賢い消費者を増やしていくことに取り組んでいきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

第4章 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり

4.2. 人にやさしい交通体系の確立

4.2.1. 利用しやすいバス体系の整備と利用促進 について

●委員

- ・市内バス年間利用人数について、目標値に比べ余裕のある実績値であると思うが、目標設定時

は利用人数が減少傾向であったのか。また今後も維持できる数値か。

○説明者（市民課長）

・昨年まで減少傾向であったが、観光客の増加の影響を受け、バスの利用者は近年増加している。

●座長

・項目の評価について異議はないか。

●委員

・異議なし。

4 2 2. 乗りやすい鉄道の整備と利用促進 について

●委員

・市内観光路線バスの効率的な活用について、勝山を訪れた子どもたちにとっては恐竜ラッピングバスに乗れるのは嬉しいことだと思うので、どんどんPRしていただきたい。また、ホームページを見ると、恐竜博物館行きの直行バスは12月から3月の冬期間は実施していないとあった。例えば冬期間にかにを食べに福井を訪れる観光客は多いと思うが、そういった方たちが恐竜博物館へ公共交通機関で来られた時の対応が十分か気になった。

○説明者（市民課長）

・恐竜博物館行きの直行バスについては、基本的に土日祝日、ゴールデンウィーク、夏休み期間など繁忙期のみ運行になっている。冬期間については化石発掘体験やディノパークなど野外のアトラクションを実施していないため、閑散期にあたる。補足として、平成29年度からは、えちぜん鉄道・市内バスの運賃、恐竜博物館の入館料がセットになったチケットに、市内バス乗り放題のメニューも追加した。

●委員

・セット券には市内観光マップ等は付けているのか。

○説明者（市民課長）

・そこまでは対応できていない。

●委員

・例えば券にQRコードを印刷し、それを読み取ると市の観光や飲食について閲覧できるサイトにつながるようにすれば、新たに紙を配布する必要はないし良いと思う。

○説明者（市民課長）

・検討させていただきたい。

●座長

・項目の評価について異議はないか。

●委員

・異議なし。

4 3. 環境や景観に配慮したまちの実現

4 3 1. 循環型社会の構築 について

●委員

- ・各種団体等のリサイクル活動の推奨について、シュレッダー紙ごみのリサイクルに関するチラシの市内事業所への配布は現在も行っているのだろうか。私のところには来ていないように思うので、周知についてさらに十分取り組んでいただきたい。

○説明者（市民課長）

- ・承知した。

●委員

- ・一般廃棄物のリサイクル率について、数値が減少しているのは、集団回収が減っているためか。またそれはスーパーなどでの資源回収が普及しつつあることが影響しているのだろうか。

○説明者（市民課長）

- ・集団回収の実施団体が減少したこともある。市民のリサイクルに対する意識の普及に努めていきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 3 2. 低炭素社会の構築 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 3 3. 環境保全・保護、美化活動の推進 について

●委員

- ・市民が行う清掃活動への支援拡充について、クリーンアップ九頭竜が行われているが、河川のごみが一時的になくなったからといって一喜一憂できない。ごみが増える要因は何か考えて対応するべきだと思う。

○説明者（市民課長）

- ・缶コーヒーやお酒の缶・ビンなど、大人の出すゴミが多いと言われているが、こういったゴミの出どころ等を分析して、排出元に働きかけていけたら良いと考えている。

●委員

- ・青年会議所として、活動が継続できなかつたことはたいへん惜しく感じる。

○説明者（市民課長）

- ・青年会議所については、10年間クリーンアップ活動をされてきたが、この活動が市民に与えたインパクトはかなり強かったと思う。これにより皆で河川清掃を行う気質ができあがった。私たちはそれを継続させていただきだけで、土台をしっかりと築き上げてこられたことに本当に感謝したいと思っている。今後はノウハウを教えていただき、市民として仲間として一緒に参加いただけるとありがたい。正直なところ、これまで青年会議所に甘えていた部分もあったと思う。

●委員

- ・一般の人が自主的に活動に取り組みたいと思う支援の仕組みづくりをしていただきたい。

●委員

- ・これは小中学校の負担になるかもしれないが、河川清掃の前に、子どもたちが活動に対しどうアプローチできるかが大切だと思う。その日の活動だけではなく、意識付けにつなげていけたら良い。また、ジオパークとも関連付けられるのではないか。地域を大切に作る気持ちなどを小中高生へのアプローチとしていただきたい。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・小中学生の環境教育については、「守る」という視点で取組まれている。市内の全小中学校がユネスコスクールとしてバイカモ、ミチノクフクジュソウ、ヨシなど地域独自の環境を自分たちの手で守っていく教育を進めている。ジオパークの観点からもしっかりと子どもたちの意識に根付かせられるよう、働きかけていきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4.4. 快適で雪に強い定住環境の実現

4.4.2. 勝山市総合克雪・利雪・親雪計画の推進 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

第5章 豊かな人間性とたくましさをもったひとを育むまちづくり

5.3. いきいきと学ぶ生涯学習の推進

5.3.3. 自然体験学習・ジオパーク学習の推進 について

●委員

- ・ジオパーク学習会への子どもの参加者比率について、数値はさらに上げることができるのか。

○説明者（ジオパークまちづくり課長）

- ・今後、高校へのアプローチができると、さらに比率は上がっていくと思う。子どもたちに勝山の良いところを小中高校で知ってもらい、大人になって都会に出ていったとしても、また帰って来たいと思ってもらえる様な教育を心がけていきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

【Bグループ】 農林業・建設分野

第1章 すべての市民の力を合わせた広く開かれたまちづくり

1.1. 市民が主体となったまちづくり

1.1.1. 市民の市政への参画推進 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

1.3. 多様な交流活動の推進

1.3.5. U・Iターンの推進 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

第4章 美しい環境や景観の中で便利で快適に暮らせるまちづくり

4.1. 効率的で人にやさしい都市基盤の実現

4.1.1. まとまりのある都市構成と土地利用の推進 について

- 委員
 - ・たとえば産業廃棄物の業者等は、施設整備の申請をするにあたり、都市計画区域である場合には、都市計画審議会に諮られることとなるが、年に1回の開催では時間もかかり、対応がたいへん苦しい。審議の内容が整えば、その都度開催いただくような対応も検討いただきたい。
- 説明者（都市政策課長）
 - ・承知した。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4 1 2. 道路網の整備 について

●委員

- ・橋梁長寿命化計画の更新と修繕工事の実施について、長寿命化に係る定期点検は実施しているとのことだが、耐震補強については検査等の中でチェックしているのか。

○説明者（建設課長）

- ・構造的なものだけであり、耐震の調査までは行っていない。費用的な問題もあり、耐震対応となるような装置を整備する等の修繕計画とはなっていない。

●委員

- ・街路樹管理計画に基づく街路樹の伐採について、地元を協力を願って費用のかからないボランティアで対応するようなことはできないのか。

○説明者（建設課長）

- ・地元からすると正直なところ、街路樹を迷惑に感じている場合もあり、なかなか難しいところである。すでに落ち葉処理はボランティアによりお願いしている。公園についても維持管理をお願いしている。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 1 3. 公園緑地の整備 について

●委員

- ・定期的な調査結果を踏まえた公園施設長寿命化計画の更新と計画に基づく修繕工事の実施について、定期的な調査とは設備の傷み具合の調査ということか。

○説明者（建設課長）

- ・そうである。遊具の点検と修繕を定期的に行っている。

●委員

- ・地域における公園の利用率の調査はしたことがあるのか。

○説明者（建設課長）

- ・実施したことがない。

●委員

- ・そうであれば利用頻度の高いところから、財政的な面も鑑み、優先順位をつけた修繕を行っていくのも1つの対策だと思う。

○説明者（建設課長）

- ・遊具は誰が使用するのかわからないところもあり、市の管理責任という面も考えながら、いただいた案についても検討していきたい。

●委員

- ・災害時にインフラが傷んだ場合、通常の仮設トイレでは対応が厳しいと思う。仮設トイレを下水に直結させる緊急設備を備えた公園を整備している事例があり、ぜひとも研究いただきたい

い。

○説明者（建設課長）

- ・承知した。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4 1 4. 河川の整備 について

●委員

- ・三谷川河川整備計画の実施について、図書館周辺の水路は壁がつるつるになったことで流れは良くなったが、逆に子どもが落ちた場合は上がれない。工夫が必要ではないか。

●委員

- ・先日、35 ミリ程度の降雨があった際、滝波町で側溝から水があふれ歩行は厳しい状況になった。そういった箇所は何カ所くらいあったのか。

○説明者（総務部長）

- ・市内に何十カ所も発生し、床下浸水も数件見られた。

●委員

- ・土砂崩れへの対策は図られているのか。

○説明者（総務部長）

- ・防災マップを作成し、危険箇所を把握している。2～3 年前に危険箇所については該当全地区に説明会を実施し、マップも全戸配布した。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 1 5. 中心市街地の整備 について

●委員

- ・他市のようにまちなかに観光協会があると良いのではないか。

●委員

- ・勝山市観光まちづくり株式会社の事務所が花月楼の中にあるのも少し違和感がある。

●委員

- ・市として、観光の拠点はどこにあると考えているのか。

○説明者（都市政策課長）

- ・現実的に、市には観光案内所がない状況である。現在、長尾山内にジオターミナルという観光交流施設を整備しているところであり、まちなか誘客に結びつけていかなければならない。

●委員

・まちなか駐車場は無料であり、とても便利だと思う。

●委員

・大型バスの駐車場があるとなお良いと思う。市としてこうしていきたいというビジョンはあるのか。

○説明者（都市政策課長）

・特に、本町通りや平泉寺は歴史的まちなみ景観の創出に力を入れており、地区とともにがんばっているところである。どうしても若い年代をターゲットにできないのが課題となってしまう。

●座長

・項目の評価について異議はないか。

●委員

・異議なし。

4.3. 環境や景観に配慮したまちの実現

4.3.4. 景観形成の推進 について

●委員

・勝山市老朽危険空き家解体事業の推進について、危険度判定を実施し、補助対象となった案件はなかったとのことだが、もう少し基準を緩和することはできないのか。

○説明者（建設課長）

・国の補助をうけているところもあり、緩和がなかなか難しい。

○説明者（建設部長）

・市長と各地区との語る会においても、そういった要望を伺っている。

●委員

・空き家は、かなり経年し劣化してから誰か使ってくれないかという相談に来る例が多いようであり、それではタイミングが遅すぎる。そうなる前に、市から区長へ空き家の対応をお願いする必要があると思う。使用が可能うちに空き家バンクへの登録を働きかけるよう依頼してはどうか。

○説明者（建設部長）

・空き家バンクもようやく市内に浸透してきている。建物取引の業界とも協定を結び連携している。

●委員

・宅建協会の感覚は、市街地の空き家であれば買い手がつくのではないかというところである。しかし、勝山市の状況は少し異なり、村部の大型住宅に買い手がつくケースが見られる。かつやま子どもの村小中学校の保護者の方はそういう物件を探している。そういった面も宅建協会に伝え働きかけてほしい。

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4.4. 快適で雪に強い定住環境の実現

4.4.1. 質の高い住環境の整備 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4.4.2. 勝山市総合克雪・利雪・親雪計画の推進 について

- 委員
 - ・豪雪時の除雪体制の確保について、除雪後の排雪に苦慮するケースがある。何か良い対応方法はないのか。また、自主防災組織が除雪機を買っても操作するボランティアがいない状況である。
- 説明者（建設部長）
 - ・地区によっては、購入した除雪機の講習会を降雪前に実施している。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

4.4.3. 水の供給システムの整備 について

- 委員
 - ・効率的な施設の維持管理について、平泉寺・大矢谷地区の上水道台帳を整備したとのことだが、それ以外の箇所は済んでいるのか。
- 説明者（上下水道課長）
 - ・上水道区域についてはほぼ完了している。簡易水道の統合が進み次第、台帳整備も進めていく。
- 委員
 - ・大きな災害が発生した場合に備えて、ライフライン（上下水道や道路）の台帳等のデータを分散しておいた方が良いのではないか。
- 説明者（上下水道課長）
 - ・おっしゃるとおりである。検討する。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

4 4 4. 水の処理システムの整備 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

【Cグループ】 教育・福祉分野

第2章 誰もが安心して暮らせる人にやさしいすこやかなまちづくり

2.1. 健康のまち勝山の実現

2.1.1. 健康づくり活動の推進 について

●委員

- ・市営温水プールの活用促進について、参加者は大勢いるようだが、事業自体の中身をどう評価しているのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・プールを活用した各種教室をシリーズで行っている。1 教室につき 20～30 人の定員とし、メニューも工夫して実施しており、おかげさまで教室は満員の状態が続いている。できるだけ、新しい方の参加があるよう募集方法も工夫しており、新規の方が多い状態である。

●委員

- ・単なるウォーキングだけでなく色々なメニューを行うこと、そしてどんどん新しい方の参加を促すことはとても良いことだと思う。紙ベースだけでなく口コミ等も活用して、PR してほしい。水中の運動は不可がかからないのでとても体に良い。

●委員

- ・ジオアリーナのトレーニングルームも評判が良い。男女比や世代など利用者の状況はどんな感じなのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・スポーツ局に聞いた情報では、10 代から 80 代までの幅広い年代の方にご利用いただいている。また、男女の比率もほぼ同数と聞いている。

●委員

- ・ウォーキングの促進について、施策指標「健康チャレンジ事業の参加者数」の伸び率が大きい何か工夫しているのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・モデル地区を設けながら、各公民館の支援も受けて定期的に地区ごとにウォーキングを開催してもらったり、スポーツ課等のイベントとのタイアップをしたり、市民の参加しやすい環境づくりに取り組んでいる。

●委員

- ・公民館の支援を受けることは必要だと思う。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

212. 保健サービスの充実 について

●委員

- ・乳幼児健診等を通じた母子保健事業の充実について、受診しない方の事情はしっかり把握しているとのことだが、受診率100%を目指してがんばってほしい。自身も出産後、精神的に疲れる時期があったことを覚えている。産後うつの予防など、多少強引にでも積極的にかかわってほしい。

○説明者（健康長寿課長）

- ・状況の把握に努めており、未受診者の事情は全て把握している。昨年には子育て世代包括支援センターも設置しており、親の精神面のフォロー等にこれまで以上に力を入れている。すこやか育児相談という相談会も行っており、利用率は昨年から倍増した。産後うつの早期発見という観点では、平成29年度からは新たに、産後健診もスタートしている。

●委員

- ・子育て世代包括支援センターを始め、勝山市の子育て支援はしっかりしていると思う。市の強みにすればよいのではないか。

●委員

- ・がん検診のPRによる受診率の向上について、勝山市はしっかり取り組んでいると思う。例えば乳がんであれば、マンモグラフィーを受けたい方はどうしても直接、病院へ行ってしまふ。また、子宮がん検診についても若い人には抵抗があり、病院へ行ってしまふことが多いのではないかと思う。たいへんだが、活用が進むようPRをより一層がんばってほしい。

○説明者（健康長寿課長）

- ・しつこいくらいにハガキの送付による周知を行っており、1人でも多く受診していただけるよう、PRしていきたい。

●委員

- ・市のがん検診による早期発見者の声を具体例として、広報等に掲載するのも面白いと思う。

○説明者（健康長寿課長）

- ・数年に1度、広報紙にそういった情報を掲載している。今後も行いたい。

●委員

- ・喫煙対策と受動喫煙防止に向けた取組みの推進について、なぜ項目を一部未達成としているのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・講座を開催し、6名の参加があった。しかし、そのうち喫煙者は0名であったことから禁煙にまで進んだ事象はなく、そのような評価とした。

●委員

- ・公共施設における喫煙場所の設定は徹底されていると思う。同様に、各地区の集落センターについても、分煙の推進を行ったほうが良いと思う。各地区の状況を調査してみるのもよいのではないか。それにあわせて、禁煙シールやポスターの配布、あるいは必ず COPD（慢性閉塞性肺疾患）の危険性を伝達するなど啓発活動に努めてほしい。講座についても禁煙希望者に特化して行ってもよいのではないか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・数年前に各集落向けに、禁煙ポスターを配布したことがあるが、あまり掲示はされなかった。今後も検討したい。

●委員

- ・受動喫煙の観点からの情報発信が大切である。喫煙を嫌がる人に対する思いやりという面を打ち出すと意識の植え付けに効果があるのではないか。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2.2. 安心して暮らせる長寿社会の実現

2.2.1. 高齢者の生きがいと健康づくりの支援 について

●委員

- ・高齢者の生きがいづくりについて、介護予防や認知症の初期対応はとても重要である。市が取り組む各種予防事業はとても良いと思う。成果につなげてほしい。

●委員

- ・各地域の方自身が、家庭にこもっているお年寄りに対し、地域へのイベントの参加を呼びかけるような取組みはあるのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・地域ごとに「ふれあいサロン」という事業を実施（していない地域もあり）しており、その取組みは地域の方が中心となって声かけをし、独自で行っている。また、市が健康の駅湯ったり勝山で実施している「お出かけサロン」も参加者の方が声かけをしあって参加してくださる。

●委員

- ・地域いきいきサポーターとはどんな制度なのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・地域の方に講習を受けていただいた後、例えば高齢者のゴミ出しや地区サロンでのボランティア活動等のお手伝いに取り組んでもらう。お手伝いにあわせてポイントを獲得し、ポイントに応じて商品券を贈呈している。

●委員

- ・他の自治体の取組みで、子どものゴミ出しボランティア活動を見たことがある。登校時のゴミ出しであり、子どもの方が一層喜ばれるのではないか。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 2 2. 高齢者介護体制の充実 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 2 3. 高齢者総合相談・支援の充実 について

●委員

- ・施策指標 地域包括支援センター「やすらぎ」で受けた年間相談件数について、H27より実績が落ちたのはどうしてなのか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・昨年度と変更点はなく、説明者が減少した明確な理由は分からないが、減少していること自体は悪いことではない。あわせて、困難度の高い事象への対応件数は増加している。量は減少しているが、質は上がってきていると考えている。

●委員

- ・質が上がっているというのは良いことである。過去の相談内容との比較も実施していただきたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 3. 福祉のまちづくりの実現

2 3 1. 障害者福祉の充実 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 3 2. 生活困窮者への支援 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 3 3. 地域福祉施策の充実 について

- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。
- 委員
 - ・異議なし。

2 4. 結婚・出産・子育て支援日本一の実現

2 4 1. 結婚支援策の充実 について

- 委員
 - ・施策指標 結婚相談件数について、相談件数は 160 件もあるのに婚姻成立 1 件となっており少なさみしい。
- 説明者（健康福祉部長）
 - ・おっしゃるとおり、婚姻の成立件数は少ない。しかし、結婚相談や婚活イベント等の取組みを工夫して実施しており、少しでも婚姻成立につながるよう努力しているところである。
- 委員
 - ・結婚相談員のメンバーはどのような構成になっているのか。
- 説明者（健康福祉部長）
 - ・各地区の婦人福祉協議会の会員から選出しており、相談員同士の情報交換も積極的に行なわれている。また、相談については来る人を待っているだけでなく、個別の訪問活動も実施している。イメージ的には昔で言うところの仲人である。
 - ・新たな取組みとして、昨年の成人式実行員会のメンバーが「かっちゃん盛り上げ隊」を組織し、出会いイベントの企画・運営に頑張ってもらっている。
- 委員
 - ・30～40 代の独身男性が地域にとっても多く、域内の活動や交流会にもなかなか参加がない状況である。どうしたらよいのかと思う。
- 説明者（健康福祉部長）
 - ・県では婚活カフェというサイトを運営しており、そこに各自治体がイベント情報を提供するとなかなかの参加申込みがある。また、イベントには男女とも平等かつ安価で参加できるよう配慮しているところであり、勝山市のイベントはよいという評価を実際に聞いている。
- 委員
 - ・PR 方法についても、広報かつやまを活用するだけでなく、SNS や区長会など様々な機会や媒体を活用しながら、どんどん行ってほしい。
- 説明者（健康福祉部長）
 - ・企業にも社員の参加を促すよう、あるいは参加しやすい職場環境を整備するようお願いしているところであり、企業からの参加も実際にあった。
- 座長
 - ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 4 2. 出産支援体制の充実 について

●委員

- ・産婦人科医の確保に向けた関係機関への働きかけについて、JCHO 福井勝山総合病院でのお産体制の充実（特に、産婦人科医の確保）はなかなか図れないのか。

○説明者（健康福祉部長）

- ・現状では週 4 日、JCHO 福井勝山総合病院において健診を受けることのできる体制となっている。勝山市としては、充実を図るよう病院に要望しているところである。ただし、産婦人科医を 1 人確保するだけでは足りず、助産師の資格所有者や小児科医の確保も必須でありなかなか難しいのが実状である。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 4 3. 子育て支援策の充実 について

●委員

- ・子育て支援に関する施策の市内外への PR 強化について、勝山市の子育て支援対策はとても充実していると思う。結婚から出産、そして育児へという一連の流れの PR ができるとさらによいと思う。自分が子育てしていたころとは、環境の充実ぶりが違う。積極的な周知に頑張してほしい。

○説明者（健康福祉部長）

- ・平成 30 年度からは、子ども医療費の窓口無料化も開始する。

●委員

- ・カンガルーのお部屋も、結婚により引っ越してきたお母さんが友達を見つける機会として非常に評判が良いと聞いている。その部分も絡めて PR するとよい。

○説明者（健康長寿課長）

- ・子ども支援ガイドブックという冊子も作成し、母子手帳とともに配布している。毎月 20 組程度の利用が見られる。

●委員

- ・来庁者へのアンケート調査も行ってほしい。

●委員

- ・認定こども園移行に対する支援について、幼稚園の利用状況の現況はどうなっているのか。

○説明者（健康福祉部長）

- ・現在、公立幼稚園は成器南幼稚園と勝山中部幼稚園の 2 園である。また、民間保育園において認定こども園への移行事例があったが、定員には達していない。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 5 1. 地域医療体制等の充実 について

●委員

- ・JCHO 福井勝山総合病院の機能の維持・充実について、災害時の対応については特に充実させてほしい。

○説明者（健康長寿課長）

- ・JCHO 福井勝山総合病院と定期的な打ち合わせを実施している。本病院については、原発から50km以上離れた総合病院という観点からも重要な拠点であると考えている。

●委員

- ・かかりつけ医を持つことへの市民への働きかけについて、かかりつけ医を持つことは重要である。がんの早期発見や健康の維持に向け、医師会とのタイアップも考えてほしい。

○説明者（健康長寿課長）

- ・病気の早期発見や重症化の未然防止等に向け、医療機関においてもかかりつけ医の必要性を訴えているところである。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 5 2. 安定した国民健康保険制度の運営 について

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。

2 6 2. 救急体制の充実 について

●委員

- ・小児科専門医以外の医師についても、子どもの初期救急だけは対応できるように何か検討を行っているのか。地域によっては医師会とタイアップし、初期救急だけは小児科医以外の医師も対応できるよう包括的に対応策を検討しているところもある。勝山市ではどうか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・在宅当番医制事業により、小児科医以外の医師に初期救急の対応をお願いしている。具体的には、市内の医療機関の医師に休日や祝日の午前9時から午後5時まで対応いただいております。平成28年度は97人の子どもを処置いただきました。

●委員

- ・それだけにとどまらず、もう少し前向きに医師会とタイアップし包括的な対応策を考えてもよいのではないか。

○説明者（健康長寿課長）

- ・医師会と相談をしながら可能な範囲で取り組みたい。

●座長

- ・項目の評価について異議はないか。

●委員

- ・異議なし。